

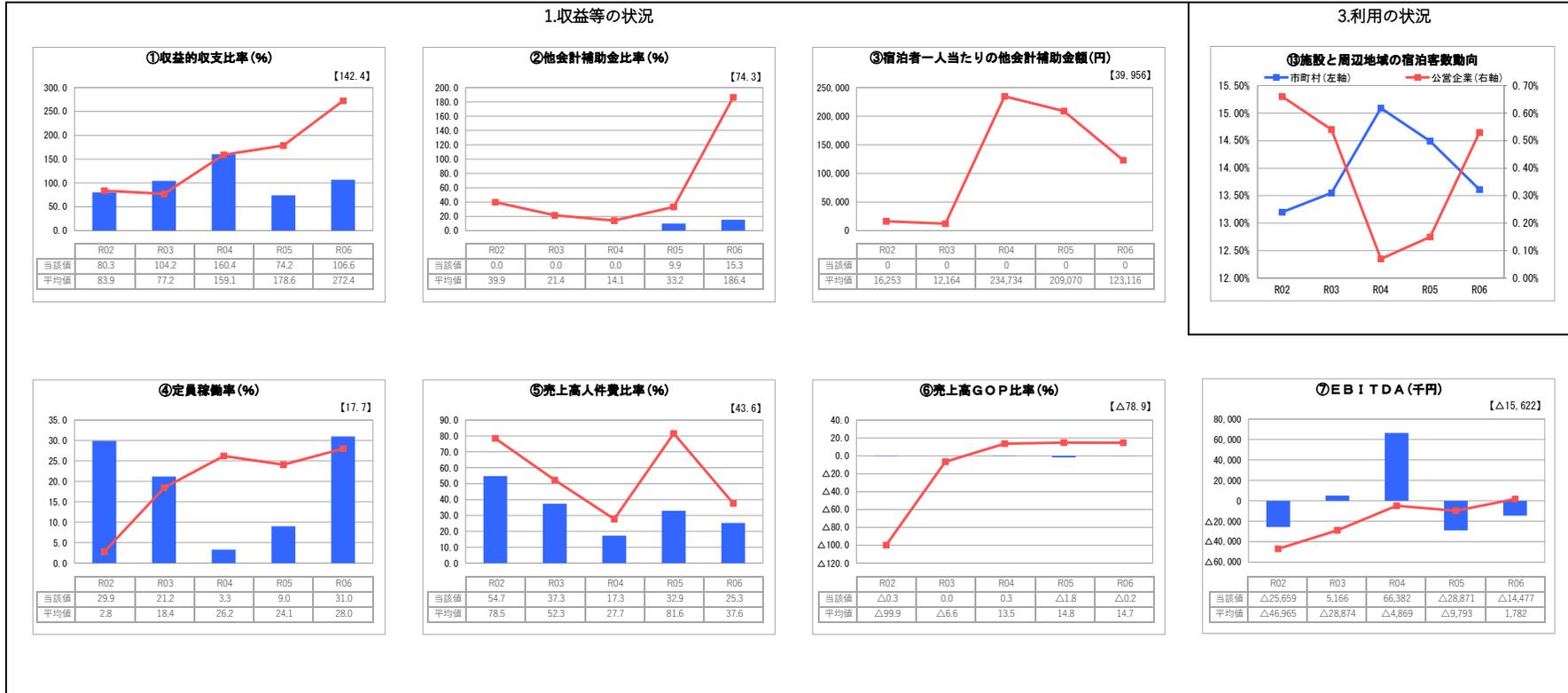
経営比較分析表（令和6年度決算）

佐賀県唐津市 国民宿舍虹の松原ホテル

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	4,068	110	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
11,056	利用料金制	30.2
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
無	96.1	有

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で年間を通して利用者が減少し収益が悪化した。令和3年度と令和4年度については新型コロナウイルスの影響により利用者は低調であったが、令和4年2月から令和4年12月まで他の宿泊業務としての用途が発生したため一時的に収益的収支比率やEBITDAが改善した。令和5年度は半年間休館し、新たな指定管理者の選定及び施設老朽化に伴う設備補修に多くの費用を要したため収益が悪化した。令和6年度は年間を通して宿泊業務を実施したため収益的収支比率及び定員稼働率が上昇したが、修繕費等の維持管理経費について他会計に依存している状況である。

2. 資産等の状況について

現在の施設は建築後30年経過しており施設老朽化が進行している。設備投資見込額は昨年度より上昇している。また、平成26年度には地方債の償還を終えたため、それ以降の債務残高は0になっている。

3. 利用の状況について

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により利用者は減少した。令和3年度は新型コロナウイルス拡大防止対策として市の要請により予約受付を一時停止した。また令和4年2月から令和4年12月までは他の宿泊施設の用途（施設増上）であったため利用者は減少した。令和5年度は4月から半年間休館したが利用者は回復傾向となった。令和6年度はビジネス客及び旅行者の増加や指定管理者による運営努力により利用者は増加傾向である。

全体総括

令和2年度から令和4年度までは新型コロナウイルスによる宿泊需要低下で施設利用者数は減少した。しかし、令和4年2月から令和4年12月までは他の宿泊業務用途により収益が増加したため一時的に経営状況が改善した。令和5年度からは半年間の休館後に宿泊事業を再開し、令和6年度は年間を通した宿泊事業により収益が改善した。人口減少に伴うサービス需要については需要減少しておらず改善傾向である。当該施設は平成6年度の全面改修から30年が経過しており、施設老朽化が進行している。そのため、収益を踏まえて今後の国民宿舍運営について検討をしている状況である。

2. 資産等の状況



⑨施設の資産価値(千円)

565,688

⑩設備投資見込額(千円)

12,400

